

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、コラムや巻末資料等が充実しており、分かりやすい。
	地理歴史	内容が生徒の理解状況に即し適当である。また、写真や図解が効果的に用いられており、生徒の理解を助けることができる。
	公民	基本的事項から発展的な内容まで丁寧な記述がなされている。また、図版や写真が豊富であり、内容も分かりやすい。
	数学	内容が本校生徒の実態に即しており、適切である。
	理科	適度な説明で図・写真がわかりやすく、内容が適切である。
	保健体育	レイアウトが統一されていて、図や写真が見やすく、本校生徒の実態に即している。
	芸術	（音楽）内容・表現がわかりやすく使いやすい。 （美術）内容・表現がわかりやすく、印刷が美しい。 （書道）内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	外国語	各課の導入部が図や写真を多く用いて生徒の興味を引き付けるものである。英文の量も適当で、本校の生徒の学力に合っている。
	家庭	本文、図表、表現等が正確であり、内容が教科、科目の目標に適合している。
	情報	
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	内容が系統的であり、教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。また、イラスト・写真が多く、関連付けも適切であり、適切な創意工夫がなされている。
	工業	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、実技で必要とされる知識、技能が正確に記載されている。
	商業	
	水産	
	家庭	内容が系統的であり、教科・科目の目標に適合し、程度が本校生徒の実態に即している。
	看護	
	情報	
	福祉	